

「改ざん指示」供述

大者「改ざん指示」供述 女医 瀨尾 東

看護記録 自らの書き換えは否定

疑者はこの点について「自分
で書き換えていた」とい
う。

佐藤容疑者は手術の際、手
術部位の血液を抜く方法
(脱血法)を自分一人の判
断で変更し、手術チームに
混乱を招いたとされている
が、「脱血法を変えた時、
ほかの医師に声をかけた」
などと反論しているとい
う。

東京女子医大病院(東京
都新宿区)で昨年三月、心
臓手術中に平柳明香さん
(当時十二歳)が死亡した
医療過誤事件で、証拠隠滅
の疑いで逮捕された同病院
循環器小児外科講師、瀨尾
和宏容疑者(46)(東京都西
東京市南町)が二十九日、
警視庁牛込署特捜本部の調
査に対し、「看護記録など
の改ざんを指示した」と容
疑を認める供述を始めた。
ただ、自ら記録を書き換え
たことは否定しており、特
捜本部は、瀨尾容疑者
は看護師長(54)らに改ざ
んを指示したが、看護師長
らが指示通りに書き換えて
くれたため、自分で
も書き換えた疑いが強いと
みている。しかし、瀨尾容
疑者は看護師長(54)らに改ざ
んを指示したが、看護師長
らが指示通りに書き換えて
くれたため、自分で
も書き換えた疑いが強いと
みている。しかし、瀨尾容
疑者はこの点について「自
分で書き換えていた」とい
う。

瀨尾容疑者は今年一月、
明香さんの両親から業務上
過失致死容疑などで刑事告
訴され、同月下旬から事情
聴取を受けた。当初は、看
護記録などの改ざんを認め
ていたが、その後、改ざん
があった事実は認めながら
「ほかの者がやったこと
で、自分がかかわってはい
ない」と供述内容を変
えている。しかし、瀨尾容
疑者はこの点について「自
分で書き換えていた」とい
う。

女子医大小児心臓手術事故

改竄指示

2002年6月30日 読売新聞